

2025年度主題科目 リーディングリスト

- *各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード: その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度: 1~3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント (80~100字程度) / (6) 推薦者の名前、所属推薦図書が2冊以上ある場合、学生に読ませたいものから順に記載する。
- ・※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。
 - ・【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。

リーディングリストに掲載されている本は、主に中央図書館2Fの特設コーナー（ゲートを抜けて、突き当りを左折）に配架されています。一部、この場所に配架されていない本もありますので、見つからない場合は図書館HPの蔵書検索で配置場所を確認してください。

- (1) 【新】筑波大学特別支援教育連携推進グループ編（2020年）『授業を豊かにする筑波大附属特別支援学校の教材知恵袋 教科編』
- (2) 関連する主題：領域Ⅱ「思考・行動・生活」
- (3) キーワード：インクルーシブ教育システム、特別支援教育
- (4) 難易度： 
- (5) 教科の学習のつまずきへの工夫について、視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・発達障害の視点から通常学級でも参考になるように示されており、特別な教育的ニーズのあるお子さんへの教育について学ぶ手がかりとなります。
- (6) 推薦者：加藤隆芳（教育学部）

- (1) 【新】筑波大学特別支援教育連携推進グループ編（2021年）『授業を豊かにする筑波大附属特別支援学校の教材知恵袋 自立活動編』
- (2) 関連する主題：領域Ⅱ「思考・行動・生活」
- (3) キーワード：インクルーシブ教育システム、特別支援教育
- (4) 難易度： 
- (5) 学習や生活のつまずきの背景について学ぶ授業「自立活動」に関し、視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・発達障害それぞれの視点から示されており、特別支援教育の根底について学ぶ手がかりとなります。
- (6) 推薦者：加藤隆芳（教育学部）

- (1) 【新】筑波大学特別支援教育連携推進グループ編（2024年）『授業を豊かにする筑波大附属特別支援学校の教材知恵袋 発展・応用編』
- (2) 関連する主題：領域Ⅱ「思考・行動・生活」
- (3) キーワード：インクルーシブ教育システム、特別支援教育
- (4) 難易度： 
- (5) 学びやすさ・生活しやすさについて、視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・発達障害それぞれの視点からの指導のあり方が、通常学級でも参考になるように示されており、インクルーシブ教育システムな教育について学ぶ手がかりとなります。
- (6) 推薦者：加藤隆芳（教育学部）

*各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード : その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度 : 1~3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属

推薦図書が2冊以上ある場合、学生に読ませたいものから順に記載する。

・※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。

・【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。

(1) 【新】石川英真編 (2021年) 『流行に踊る日本の教育』、東洋館出版社

(2) 関連する主題 : 領域Ⅱ「思考・行動・生活」

(3) キーワード : 資質・能力、個別化・個性化、対話的・協同的な学び、社会に開かれた教育課程

(4) 難易度 : 

(5) 近年の教育改革の動向を学ぶことができます。また、それらについて批判的(創造的)な視点から分析がなされており、我々自身の「ものの見方・考え方」を深めてくれる書籍です。

(6) 推薦者 : 山岸知幸 (教育学部)

(1) 【新】高木啓・熊井将太編 (2025年) 『授業実践コンピテンシーを育む教育方法論』、北大路書房

(2) 関連する主題 : 領域Ⅱ「思考・行動・生活」

(3) キーワード : 子ども理解、対話的コミュニケーション、学習課題、学習主体、授業研究

(4) 難易度 : 

(5) 教員に求められるコンピテンシーとは何か、そこにはどのようなものがあるのか、最新の教育方法学研究の知見をもとにまとめられており、教育実践研究へ誘ってくれる入門書です。

(6) 推薦者 : 山岸知幸 (教育学部)

(1) 【新】石川大樹・ギャル電・藤原麻里菜 著 (2023) 『雑に作る』、オライリー・ジャパン

(2) 関連する主題 : 領域Ⅲ「産業・技術・都市」 創造工学の扉 第11回 日曜メカトロニクス

(3) キーワード : ものづくり、DIY、心得/マインドセット、

(4) 難易度 : 

(5) 日頃、何かに取り組むとき、完成度は低くてもまずは仕上げる、広く深く学ぶより今必要なことを学ぶ、まずはそれでよい。ということ、ものづくり/メカトロニクスを題材にして紹介する事例集です。

(6) 推薦者 : 小水内俊介 (創造工学部)

(1) 【新】藤原麻里菜 著 (2018) 『無駄なことを続けるために』、ワニブックス

(2) 関連する主題 : 領域Ⅲ「産業・技術・都市」 創造工学の扉 第11回 日曜メカトロニクス

(3) キーワード : ものづくり、DIY、心得/マインドセット、情報発信、収益化/マネタイズ、

(4) 難易度 : 

(5) 取り組みを続けるために、主要論点を言葉にして、オンラインでも対面でも人に見てもらって、それをお金にすることで、次の取り組みのモチベーションにする、そういう仕組みづくりの自伝です。

(6) 推薦者 : 小水内俊介 (創造工学部)

- *各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード: その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度: 1~3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属
- 推薦図書が2冊以上ある場合、学生に読ませたいものから順に記載する。
- ・※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。
 - ・【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。

- (1) 【新】北川雅浩 (2024 年) 『小学校国語科における討論指導に関する研究: 協同探究のための〈議論展開能力〉の育成』 風間書房
- (2) 関連する主題: 領域Ⅱ「思考・行動・生活」
- (3) キーワード: 討論指導、議論展開能力、協同探究
- (4) 難易度: 
- (5) 協同探究をどのように進めていくべきか、効果的な議論の方法について考察する。著者は教育の歴史的背景を踏まえながら、小学校での実践的な授業を通じて得られた成果と課題を体系的にまとめている。
- (6) 推薦者: 浅井哲司 (教育学部)

- (1) 【新】山元悦子 (2016 年) 『発達モデルに依拠した言語コミュニケーション能力育成のための実践開発と評価』 溪水社。
- (2) 関連する主題: 領域Ⅱ「思考・行動・生活」
- (3) キーワード: 言語コミュニケーション能力、話し合いの評価
- (4) 難易度: 
- (5) 言語コミュニケーション能力の育成について、小学1年生から中学3年生までの9年間にわたる実証データに基づいて示している。また、話し合い活動の評価方法については、個々の学習者の具体的な事例を通して明らかにしている。
- (6) 推薦者: 浅井哲司 (教育学部)

- (1) 【新】上山伸幸 (2021 年) 『小学校国語科における話し合い学習指導論の構築: メタ認知を促す授業とカリキュラムの開発をめざして』 溪水社。
- (2) 関連する主題: 領域Ⅱ「思考・行動・生活」
- (3) キーワード: メタ認知、カリキュラム、全体型凝縮型文字化資料
- (4) 難易度: 
- (5) メタ認知を促す授業では、どのような話し合いが効果的なのか。このような授業を実現するために、カリキュラムをどのように構築すべきか。これらの問いに答えるため、全体型凝縮型文字化資料を開発し、その検証を通じて具体的な指導過程を明らかにしている。
- (6) 推薦者: 浅井哲司 (教育学部)

- *各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード : その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度 : 1~3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属
- 推薦図書が2冊以上ある場合、学生に読ませたいものから順に記載する。
- ・※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。
 - ・【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。

- (1) 【新】マハティール・ビン・モハマド (2013年) 『マハティールの履歴書: ルック・イースト政策から30年』日本経済新聞出版本部
- (2) 関連する主題: 領域 I 「経済・社会・文化」
- (3) キーワード: マレーシア、現代史、東方政策、日本近現代史、多民族・多国籍社会
- (4) 難易度: 
- (5) マハティール元首相の自伝です。比較的読みやすいうえ、本書はマレーシアのみならず、日本の現代史を知るために大学生には必読書です。特に薦めたいです。
- (6) 推薦者: 滝川祐子 (インターナショナルオフィス)

- (1) 【新】今井昭夫 (2014年) 東南アジアを知るための50章 (エリア・スタディーズ) 明石書店
- (2) 関連する主題: 領域 I 「経済・社会・文化」、多民族・多国籍社会
- (3) キーワード: 東南アジア、現代社会、多民族・多文化社会
- (4) 難易度: 
- (5) ASEANと日本との関係が益々重要となっている今日、本書は東南アジアについて多角的に楽しく知識を増やすことができる格好の入門書です。
- (6) 推薦者: 滝川祐子 (インターナショナルオフィス)

- (1) 【新】堀田一吉・中浜隆編 (2023年) 『現代保険学』株式会社有斐閣
- (2) 関連する主題: 領域 I 「経済・社会・文化」
- (3) キーワード: 「リスクと保険」「生命保険と損害保険」
- (4) 難易度: 
- (5) 保険学を重点に、専門的な分野について体系的に分かりやすく解説されており、リスクマネジメントの手段として保険を深く学びたい方にお薦め。
- (6) 推薦者: 匿名

- (1) 【新】潮見佳男ほか (2023年) 『18歳からはじめる民法・第5版』法律文化社
- (2) 関連する主題: 領域 I 「経済・社会・文化」
- (3) キーワード: 民法
- (4) 難易度: 
- (5) この本は、法律を初めて学ぶ18歳にもわかりやすく、身近な話題から民法のルールを学ぶことができます。法学部生はもちろん、「法律って難しそう…」と思っているあなたにも、ぴったりの一冊です。
- (6) 推薦者: 林田光弘 (法学部)

- *各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード : その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度 : 1~3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属
- 推薦図書が2冊以上ある場合、学生に読ませたいものから順に記載する。
- ・※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。
 - ・【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。

- (1) 【新】香取照幸, 2022年, 高齢者福祉論—介護保険制度の理念・意義・課題, 東洋経済新報社
- (2) 関連する主題 : 主題 領域 I 「経済・社会・文化」
- (3) キーワード : 高齢者福祉、介護保険制度、地域包括ケアシステム
- (4) 難易度 : 
- (5) 日本における介護保険制度や地域包括ケアシステムを中心に、高齢者福祉に関わる様々な論点(理念・意義・課題など)を解説する入門書です。
- (6) 推薦者 : 畠山輝雄(鳴門教育大学)

- (1) 【新】大塩まゆみ・奥西栄介編著, 2020年, 高齢者福祉(第3版), ミネルヴァ書房
- (2) 関連する主題 : 主題 領域 I 「経済・社会・文化」
- (3) キーワード : 高齢者福祉、介護保険制度、地域包括ケアシステム
- (4) 難易度 : 
- (5) 超高齢化社会の日本における介護保険制度や地域包括ケアシステムを中心に、高齢者福祉に関わる様々な論点を解説する入門書です。項目ごとにわかりやすく解説されています。
- (6) 推薦者 : 畠山輝雄(鳴門教育大学)

- (1) 【新】宮澤仁編著, 2017年, 地図でみる日本の健康・医療・福祉, 明石書店
- (2) 関連する主題 : 主題 領域 I 「経済・社会・文化」
- (3) キーワード : 医療、福祉、地図
- (4) 難易度 : 
- (5) 日本における健康や医療・福祉に関わる地理的情報を地図やグラフなどに可視化し、前述のサービスに関わる地域差の実態や要因が解説されています。
- (6) 推薦者 : 畠山輝雄(鳴門教育大学)

- (1) トムソンネット編 ; 山本祥司 [ほか] 著 (2022年) 『図説生命保険ビジネス』 金融財政事情研究会
- (2) 関連する主題 : 領域 I 「経済・社会・文化」
- (3) キーワード : 「生命保険の仕組み」「社会保険の仕組みと民間生命保険」
- (4) 難易度 : 
- (5) 生命保険ビジネスのなりたち、商品開発から募集、保険金支払いに至る業務のポイント、経営環境の変化と今後の経営戦略方向がわかりやすく解説されています。
- (6) 推薦者 : 匿名

- *各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード : その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度 : 1~3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属
- 推薦図書が2冊以上ある場合、学生に読ませたいものから順に記載する。
- ・※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。
 - ・【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。

- (1) ジム・トレリス著 / 亀井よし子訳 (1987年) 『読み聞かせ この素晴らしい世界』、高文研
- (2) 関連する主題 : 領域Ⅰ「経済・社会・文化」
- (3) キーワード : 読み聞かせ、絵本、黙読の時間
- (4) 難易度 : 
- (5) 読み聞かせ (絵本の読み聞かせ) が、本への欲望を育て、黙読の時間が、読書の習慣を身につけさせる。
- (6) 推薦者 : 余郷裕次 (鳴門教育大学大学院)

- (1) 長谷川集平著 (1988年) 『絵本づくりトレーニング』、筑摩書房
- (2) 関連する主題 : 領域Ⅰ「経済・社会・文化」
- (3) キーワード : 「モンタージュ論」「めくる効果」「正面性」
- (4) 難易度 : 
- (5) 絵本を制作する立場から絵本を解説する入門書。絵本をどう作るかの理論として、「めくる効果」に基づく「モンタージュ論」、キャラクターの「正面性」について解説している。
- (6) 推薦者 : 余郷裕次 (鳴門教育大学大学院)

- (1) 多田順一郎著 「《疑問が解ける》放射線・放射能の本」 オム社 2014年刊
- (2) 関連する主題 : 主題 領域Ⅲ「産業・技術・都市」
- (3) キーワード : 放射能・放射線・生体・安全・原発
- (4) 難易度 : 
- (5) 放射線・放射能に対する疑問が解け、本質から理解できます。読みやすいので、入門書としてよいかと思えます。
- (6) 推薦者 : 岡野 聡 (愛媛大学)

- (1) 藤家洋一 (2005年) 「原子力」 ERC 出版
- (2) 関連する主題 : 領域Ⅲ「産業・技術・都市」
- (3) キーワード : 放射線 エネルギー 核分裂 核融合
- (4) 難易度 : 
- (5) 原子力について、事実を客観的に理解するためにやさしく書いてある。原子力に関連する問題に対して、サイエンスの立場からきちんとした意見を言うために、ぜひ勉強してほしい。
- (6) 推薦者 : 岡野 聡 (愛媛大学)

- *各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード : その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度 : 1~3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属
- 推薦図書が2冊以上ある場合、学生に読ませたいものから順に記載する。
- ・※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。
 - ・【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。

- (1) 小林 昭夫 (1988) ヒコキで知る飛行の原理—身近に学ぶ航空力学 (ブルーバックス) 講談社
- (2) 関連する主題 : 領域Ⅲ「産業・技術・都市」
- (3) キーワード : 安定性, 揚力
- (4) 難易度 : 
- (5) 飛行機にかかる力、主翼や尾翼、舵の役割を詳しく解説しているので、授業の後半がわかりやすくなります。厚紙組み立て紙飛行機的设计法の部分は、折り紙飛行機にも応用できて良いです。
- (6) 推薦者 : 岩本 幸治 (愛媛大学工学部)

- (1) ヘンク テネケス著, 高橋 健次訳 (1999) 鳥と飛行機どこがちがうか—飛行の科学入門 草思社
- (2) 関連する主題 : 領域Ⅲ「産業・技術・都市」
- (3) キーワード : 揚力, 鳥
- (4) 難易度 : 
- (5) 27 ページの図 2 「飛行相関図」が素晴らしい。両対数グラフで直線に乗るデータは、適切な無次元化をすれば全てのデータが同じ数値をとる、という流れの相似則を表しています。
- (6) 推薦者 : 岩本 幸治 (愛媛大学工学部)

- (1) 一般社団法人日本産業技術教育学会 (編), 2019 年, 小・中・高等学校でのプログラミング教育実践 問題解決を目的とした論理的思考力の育成, 九州大学出版会
- (2) 関連する主題 : 領域Ⅱ「思考・行動・生活」
- (3) キーワード : 情報活用能力, プログラミング教育, 情報教育
- (4) 難易度 : 
- (5) 2020 年度から学校教育においてプログラミング教育が必修化されました。小・中・高等学校を通じたプログラミング教育実践を扱っており, 学校種や教科を超えた幅広い方々にとって参考となる書籍です。
- (6) 推薦者 : 匿名